

令和4年度鹿児島島地域人財確保・育成 推進事業計画について

- 1 令和3年度事業実績
- 2 令和4年度事業計画(案)

令和4年6月2日
鹿児島島地域人財確保・育成推進協議会

令和3年度鹿児島地域人財確保・育成事業の取組実績 (4月14日 推進本部会議報告)

鹿児島地域振興局

1 事業の目的・狙い

「鹿児島地域人財確保・育成推進協議会」を通じて、地域の雇用、地元への人材定着の状況や課題等について認識を共有するとともに、若年層を中心に人材の地元定着のために必要な施策について、官民が連携して実施する。

2 取組内容

① 鹿児島地域人財確保・育成協議会の開催

第1回 令和3年6月9日(水) (書面開催)

② 鹿児島地域ふるさと人材確保・育成事業の実施

同協議会委員の意見等を踏まえ、地元市村やハローワーク、教育機関等とも連携を図りながら、次の取組を実施した。

1 概要

ア PR紙「WATCHかごしま仕事」の作成

高校生等に鹿児島県の経済・産業の魅力・強み、都市部と比較した県内で働く優位性を、写真や図表を用い紹介するとともに、業種別の相談窓口や企業の求人情報を提供することで、地元就職について幅広い情報を得て知識を深めるPR紙を作成。

(1) 鹿児島県経済・産業の魅力発信

鹿児島県経済の特徴、鹿児島県産業の魅力と新たな動き、東京と鹿児島の暮らし

(2) 業種別の相談窓口(6団体)

(3) 企業データ：掲載企業等数 64社

(鹿児島市 31社、日置市 12社、いちき串木野市 21社)



イ PR紙の活用

就職を目指して管内で就学している高校生に配付するとともに、合同企業面談会等で活用。

(1) 配布実績

ア 管内高校(12校)

- 配布校：県立鹿児島南高等学校、県立鹿児島工業高等学校、県立吹上高等学校、県立市来農芸高等学校、市立鹿児島商業高等学校、市立鹿児島女子高等学校、鹿児島高等学校、鹿児島実業高等学校、樟南高等学校、鹿児島情報高等学校、鹿児島城西高等学校、神村学園

イ 4市合同企業説明・面談会(鹿児島市、日置市、いちき串木野市、始良市)

- 開催日：令和4年1月10日(月・祝)
- 参加企業等数：63社
- 参加者：118名

3 取組実施による成果

就職活動開始前の高校生等に対し、鹿児島県経済の特徴や産業の魅力・強みをアピールするとともに、業種別の相談窓口の紹介、地元企業の求人情報を掲載した「WATCHかごしま仕事」を製作・配布することで、地元で働くことを具体的に考える機会の創出を図った。

令和4年度鹿児島地域人財確保・育成推進事業計画（案）

1 事業目的

「鹿児島地域人財確保・育成推進協議会」を通じて、地域の雇用、地元への人材定着の状況や課題等について認識を共有するとともに、関係する団体等が連携して高校生等の地元就労を促進するための取組を実施する。

2 事業内容

(1) 鹿児島地域人財確保・育成協議会の開催（6月2日）

(2) 地元就労を促進するためのPR紙の作成・配布

高校生等に鹿児島地域の企業等に興味を持ってもらい、地元就労の促進につなげるため、令和3～5年度においては、鹿児島県経済や産業の特徴・強み、鹿児島地域の企業等の求人情報などを取りまとめたPR紙を作成し、高校生等に配布する。

ア PR紙の作成

令和3年度のPR紙をベースとして、当協議会委員の方々やPR紙を配布した高校からの意見等も踏まえた内容の見直しや必要となるデータの更新等を行う。

合わせて、完成したPR紙は県のホームページへ掲載する。

① PR紙の構成

鹿児島県経済の特徴や産業の魅力・強み、業種別の相談窓口の紹介、地元企業の求人情報 など

② PR紙のサイズ等

引き続き、高校生等が手に取りやすいように新聞の号外程度の大きさとする。

また、できる限り大きな文字や写真、図表を用い、解りやすくなるように努める。

イ PR紙の活用

管内の高校生（1，2年生）に配付するとともに鹿児島地域の3市が開催する合同企業説明会等で活用する。

3 予算計上額 1,200千円

4 参考

(1) 委員からの意見

ア 離職率を下げ、職場に定着する情報提供がポイント。

イ 県内企業のアピール、働きやすい職場環境の情報発信が必要。 等

(2) PR紙を配布した高校（就職進路指導担当者）の意見

ア 新聞サイズではなく、冊子タイプにすると生徒は保管もしやすい。

イ ユースエール認定、障害者雇用、若手社員の声といった情報の拡充が必要。 など

